事例No.	2117
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	長野県上田市

事例区分	DX

タグ	・消防・防災 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	土木・インフラ

事例内容・タイトル

デジタル技術を活用した河川実態調査

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

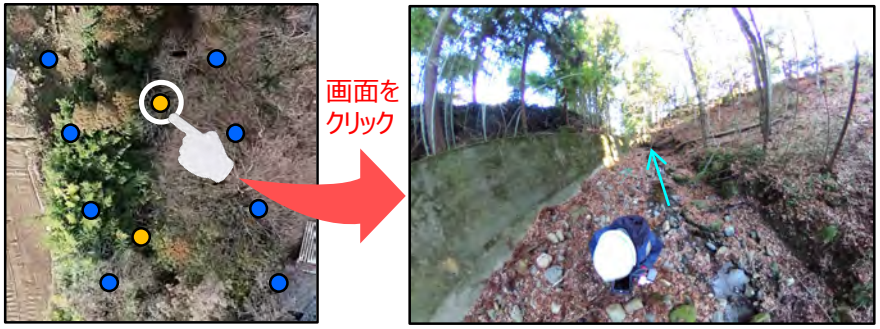
137 デジタル技術を活用した河川実態調査【長野県上田市】

事業の概要

○ 上田市は、「上田市スマートシティ化推進計画」のAI・IoTを活用した安全・安心な地域づくりのもと、河川の現状を把握し、災害時の危険性を早期把握するとともに、減災、防災を進め地域住民の安全・安心な暮らしを支える基盤強化を促進する。

○ ドローンによる航空写真撮影および360°カメラによる河川現況調査を行い、画像データを全庁で使用する統合型GISシステムに搭載することで、横断的な情報共有及び業務の効率化を図る。

ドローンによる空撮画像



360°カメラ画像

マウスドラックで視点変更

【参考情報①】 人口：15.6 万人
関連URL：
https://www.city.ueda.nagano.jp/uploaded/attachment/30441.pdf
（上田市スマートシティ化推進計画）

【参考情報②】デジタル田園都市国家構想推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/sousei/about/mirai/policy/policy1.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



令和元年東日本台風により、被災した社会インフラの中で、管理する中小河川の被害実態の把握に長期間を要し苦慮しました。また、河川などの危険個所の状況を常時把握できる仕組みを強化するため、河川版「ストリートビュー」イメージの管理ツールという構想に行きつきました。

（上田市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和3年度は、実証的に河川実態調査を単独費で実施しました。
事業化にあたり、令和4年度から内閣府のデジタル田園都市国家構想推進交付金（令和４年度）を活用して、河川実態調査を実施する予定です。



事業の近況を教えてください。



令和3年度は2河川、延長約2.1㎞実施しました。
河川の護岸など主要構造物の健全度を360°カメラ画像から容易に判定できるようになりました。
また、更新によりデータを蓄積することで、老朽化の進行度に応じた、メンテナンス計画に利用することが期待できます。

★担当：上田市都市建設部 土木課★

令和3年度事業費 2,000千円